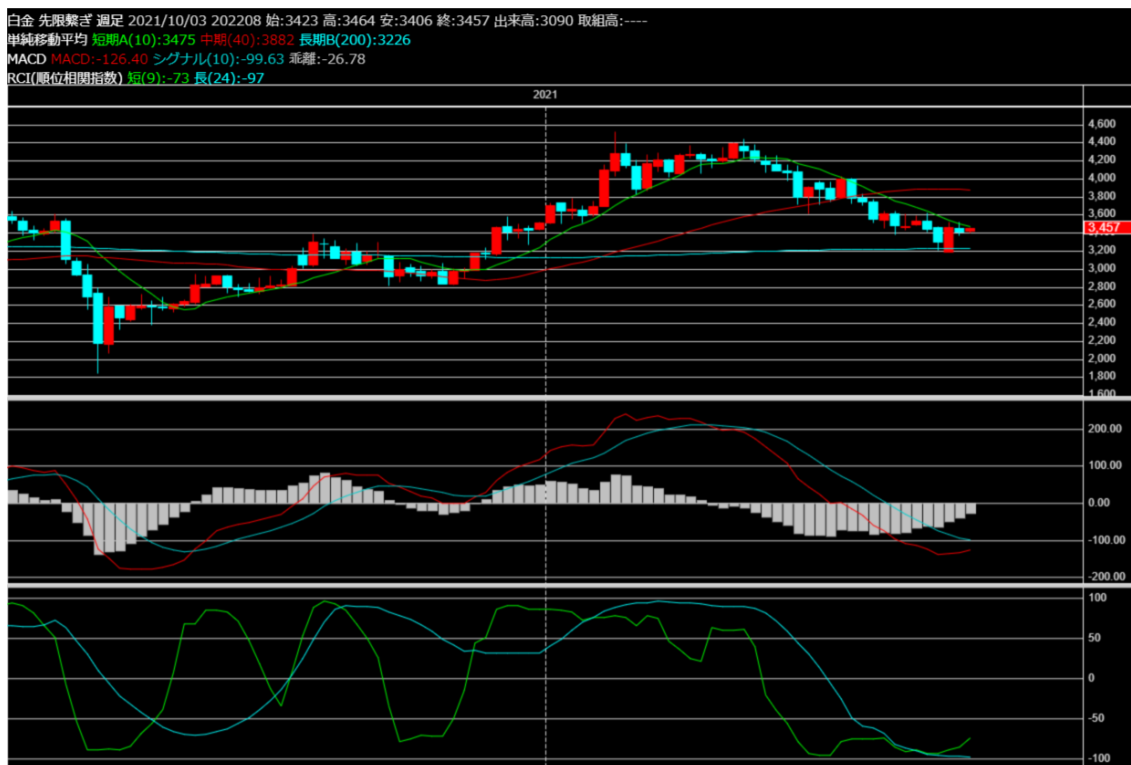


<白金標準先物、市場心理の変化で 3528 円を超えて 3667 円へ・・・>



(出所：オアシス)

中国の恒大集団は、国内向けの理財商品の償還を 2 年半に期間を掛けて行う事で合意している。特に傘下の地方銀行株 19%を国営企業に売却し 6930 億円の資金を確保するなど目先のデフォルト・リスクの巻き戻し要因へ結び付いている。

また自動車部品のサプライチェーンの混乱もマレーシアのロックダウンが国家回復計画に基づき 10 月 1 日から 4 ヶ月ぶりに全国的で解除するなど経済活動を開始している。今後は発注から納品までの時間である 90 日間のリードタイムの縮小に動き出す状況ではないか。特に 10 月 11 日から英国グラスゴーで開催される「国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP26)」では石炭火力発電所の建設禁止が提示され、脱化石燃料の加速が予想されるなど、燃料電池に欠かせない白金は需要が期待される市場心理に変化する可能性が高くなるのではないかと。そのため 5 月から下落を続けた白金価格は 0.382 の戻りを示す 3667 円に向けて回帰相場を示すと予想される。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD の下落が終わり、シグナルに向けて戻りを示している。また RCI は短期が長期を上回りながら上昇しており、5 月の 2600 円～3300 円へ向けた上昇時における動きと類似している。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 541049 (前週比+10190)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 71.42 (前週比-0.47)